

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。

A 「期間」合計特殊出生率

ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その時点における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。

どの年齢の女子の人数も同じとして算定される出生率なので、女子人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。

B 「コーホート」合計特殊出生率

ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。

「その世代の出生率」である。

- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、それに相当するものとして一般に用いられているのはAの期間合計特殊出生率である。

これは、各年齢の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になるからである。

- 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1967～1971年生まれ（平成18年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.44であり、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

平成18年の期間合計特殊出生率は、現在、晩産化の進行中であり、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計であって、「実際に1人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

	昭和51年 (1976)	56年 (1981)	61年 (1981)	平成3年 (1991)	8年 (1996)	13年 (2001)	平成18年 (2006)
母の年齢	1.85	1.74	1.72	1.53	1.43	1.33	1.32
15～19歳	0.0186	0.0196	0.0196	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250
20～24	0.4825	0.3697	0.3016	0.2244	0.1988	0.1980	0.1871
25～29	0.9266	0.9074	0.8557	0.6956	0.5631	0.4782	0.4352
30～34	0.3446	0.3669	0.4473	0.4722	0.4895	0.4425	0.4516
35～39	0.0694	0.0693	0.0891	0.1115	0.1395	0.1659	0.1886
40～44	0.0097	0.0082	0.0094	0.0118	0.0155	0.0199	0.0286
45～49	0.0004	0.0003	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0005

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

	1957-1961 45～49歳の世代	1962-1966 40～44歳の世代	1967-1971 35～39歳の世代	1972-1976 30～34歳の世代	1977-1981 25～29歳の世代	1982-1986 20～24歳の世代	1987-1991 15～19歳の世代
母の年齢							
15～19歳	0.0186	0.0196	0.0196	0.0188	0.0188	0.0289	0.0250
20～24	0.3697	0.3016	0.2244	0.1988	0.1980	0.1871	
25～29	0.8557	0.6956	0.5631	0.4782	0.4352		
30～34	0.4722	0.4895	0.4425	0.4516			
35～39	0.1395	0.1659	0.1886				
40～44	0.0199	0.0286					
45～49	0.0005						
コホート 合計特殊出生率	1.88	1.70	1.44	1.15	0.65	0.22	0.02

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

	1957-1961 45～49歳の世代	1962-1966 40～44歳の世代	1967-1971 35～39歳の世代	1972-1976 30～34歳の世代	1977-1981 25～29歳の世代	1982-1986 20～24歳の世代	1987-1991 15～19歳の世代
母の年齢							
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
15～24	0.39	0.32	0.24	0.22	0.22	0.22	
15～29	1.24	1.02	0.81	0.70	0.65		
15～34	1.72	1.51	1.25	1.15			
15～39	1.86	1.67	1.44				
15～44	1.88	1.70					
15～49	1.88						

*「15～19歳の世代」は、昭和62～平成3年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和57～61年生まれ、
「25～29歳の世代」は、昭和52～56年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和47～51年生まれ、
「35～39歳の世代」は、昭和42～46年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和37～41年生まれ、
「45～49歳の世代」は、昭和32～36年生まれ。

3. 出生数の動向と(期間)合計特殊出生率の動向の関係

- 出生数は次の3つの要素に分解できるので、その動向は、「(期間)合計特殊出生率」の動向だけでなく、「女子人口(15～49歳)」と「(15～49歳女子人口の)年齢構成の違い」の動向にもよる。各要素の動向は次頁のとおりである。

$\text{出生数} = \underbrace{\text{女子人口 (15～49歳)}}_{\substack{\text{(15～49歳のどの年齢の女子の人数} \\ \text{も同じとした場合に見込まれる出生数)}}} \times \frac{\text{(期間)合計特殊出生率}}{35^*} \times \text{(15～49歳女子人口の)年齢構成の違い}$ <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> \uparrow (出生数÷見込まれる出生数) </div>

* (期間)合計特殊出生率は15～49歳までの35個の年齢別出生率を加えたものであるため、女子人口(15～49歳)を乗じて出生数となるよう35で除している。

平成17年	106.3万人	=	2,738万人	×	$\frac{1.26}{35}$	×	1.078
	↓2.8%		↓△0.8%		↓4.5%		↓△0.8%
平成18年	109.3万人	=	2,716万人	×	$\frac{1.32}{35}$	×	1.069

※合計特殊出生率が変わらなかった場合、出生数は△1.6%であったと見込まれる。

(説明)

- (1) その年の女子の年齢別出生率の合計である「(期間)合計特殊出生率」は、「その年の女子人口(15～49歳)について、仮にどの年齢の女子の人数も同じとした場合のその年の出生率」である。

このため、「女子人口(15～49歳)」に「(期間)合計特殊出生率/35」を乗じたものは、「15～49歳のどの年齢の女子の人数も同じとした場合に見込まれる出生数」となる。

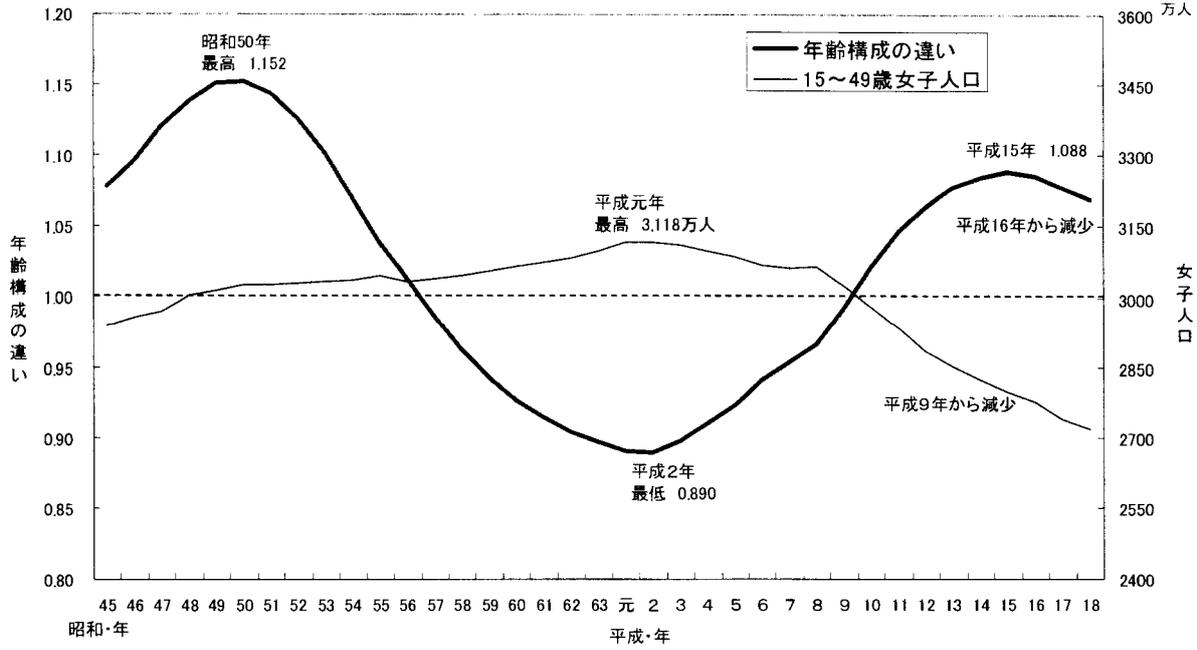
- (2) 「(15～49歳女子人口の)年齢構成の違い」とは、「その年の女子の人数が年齢により異なっている状況(年齢構成)が、どの年齢の女子の人数も同じという状況(年齢構成)とどのくらい違うかを表すもの」である。

どの年齢の女子の人数も同じ場合には1となり、概ね、出生率の高い年齢の女子の人数が他の年齢より多い場合には1より大きく、少ない場合には1より小さくなる。

- (3) 「女子人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」が変わらない場合には、出生数は「(期間)合計特殊出生率」が高ければ多く、低ければ少なくなる。

また、「女子人口(15～49歳)」と「(期間)合計特殊出生率」が変わらない場合には、出生数は、「年齢構成の違い」が1より大きければ見込まれる出生数より多く、1より小さければ見込まれる出生数より少ない。

「女子人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率 (%)			
	出生数 ①×②/35×③	15～49歳 女子人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15～49歳 女子人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③
昭和 45 年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
平成 元	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
18	1 092 662	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、平成16年
 3) 「15～49歳女子人口」の転換年は平成9年

人口動態総覧（率）の国際比較

国名	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率
日本	'06) 8.7	'06) 8.6	'06) 2.6	'06) 5.8	'06) 2.04	'06) 1.32
韓国	'06) *9.3	'05) 5.0	…	'06) 6.8	'06) 2.6	'06) *1.13
シンガポール	'05) 10.0	'05) 4.3	'05) 2.1	'05) 6.5	'05) 1.94	'05) 1.25
アメリカ	'05) *14.0	'05) *8.2	'05) *6.8	'05) *7.5	'05) *3.6	'05) *2.05
フランス	'06) *13.1	'06) *8.4	'06) *3.8	'06) *4.3	'04) 2.16	'06) *2.01
ドイツ	'04) 8.6	'04) 9.9	'04) 4.1	'04) 4.8	'04) 2.59	'04) 1.36
イタリア	'04) 9.7	'04) 9.4	'04) 4.1	'04) *4.3	'03) 0.73	'04) 1.33
スウェーデン	'04) 11.2	'04) 10.1	'04) 3.1	'04) 4.8	'04) 2.24	'04) 1.75
イギリス	'04) 12.0	'04) 9.8	'03) 5.3	'03) 5.1	'03) 2.80	'03) 1.71

注：*印は暫定値である。

資料：(1) 日本は、人口動態統計月報年計（概数）の概況

(2) 韓国は、韓国統計庁資料

(3) シンガポールは、シンガポール統計局資料

(4) アメリカは、NCHS, National Vital Statistics Reports

(5) フランスは、フランス国立統計経済研究所資料

(6) フランスを除くヨーロッパの各国は、UN, Demographic Yearbook 2004

分母に用いた人口

① 年齢5歳階級・男女別（日本人人口）

年齢階級	総数	男	女
総数	126 154 000	61 568 000	64 586 000
0～4歳	5 451 000	2 792 000	2 659 000
5～9	5 872 000	3 011 000	2 861 000
10～14	5 961 000	3 055 000	2 906 000
15～19	6 348 000	3 260 000	3 089 000
20～24	7 115 000	3 656 000	3 459 000
25～29	7 791 000	3 966 000	3 825 000
30～34	9 440 000	4 792 000	4 648 000
35～39	9 087 000	4 600 000	4 487 000
40～44	7 833 000	3 953 000	3 881 000
45～49	7 586 000	3 808 000	3 777 000
50～54	8 333 000	4 158 000	4 175 000
55～59	10 752 000	5 323 000	5 429 000
60～64	8 092 000	3 935 000	4 156 000
65～69	7 585 000	3 625 000	3 961 000
70～74	6 786 000	3 119 000	3 667 000
75～79	5 393 000	2 324 000	3 069 000
80～84	3 644 000	1 343 000	2 300 000
85～89	1 933 000	575 000	1 358 000
90～94	888 000	221 000	667 000
95～99	235 000	45 000	190 000
100～	29 000	4 000	24 000

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

② 都道府県・男女別人口（日本人人口）

都道府県	総 数	男	女
全 国	126 154 000	61 568 000	64 586 000
北海道	5 585 000	2 651 000	2 934 000
青森	1 419 000	670 000	749 000
岩手	1 370 000	656 000	713 000
宮城	2 343 000	1 140 000	1 203 000
秋田	1 130 000	534 000	597 000
山形	1 201 000	579 000	622 000
福島	2 070 000	1 007 000	1 063 000
茨城	2 934 000	1 461 000	1 473 000
栃木	1 988 000	989 000	999 000
群馬	1 985 000	977 000	1 008 000
埼玉	6 989 000	3 523 000	3 466 000
千葉	5 999 000	3 003 000	2 996 000
東京	12 405 000	6 182 000	6 223 000
神奈川	8 710 000	4 402 000	4 308 000
新潟	2 408 000	1 166 000	1 242 000
富山	1 098 000	529 000	568 000
石川	1 163 000	562 000	602 000
福井	808 000	391 000	416 000
山梨	867 000	425 000	442 000
長野	2 154 000	1 050 000	1 105 000
岐阜	2 064 000	1 001 000	1 064 000
静岡	3 719 000	1 831 000	1 887 000
愛知	7 136 000	3 583 000	3 553 000
三重	1 832 000	891 000	941 000
滋賀	1 363 000	674 000	690 000
京都	2 598 000	1 248 000	1 349 000
大阪	8 642 000	4 192 000	4 450 000
兵庫	5 506 000	2 638 000	2 868 000
奈良	1 407 000	669 000	738 000
和歌山	1 023 000	482 000	541 000
鳥取	600 000	287 000	313 000
島根	732 000	349 000	383 000
岡山	1 938 000	931 000	1 008 000
広島	2 846 000	1 376 000	1 470 000
山口	1 471 000	694 000	778 000
徳島	801 000	381 000	420 000
香川	1 003 000	482 000	521 000
愛媛	1 453 000	685 000	768 000
高知	787 000	370 000	417 000
福岡	5 015 000	2 376 000	2 639 000
佐賀	859 000	405 000	454 000
長崎	1 461 000	682 000	778 000
熊本	1 829 000	861 000	968 000
大分	1 199 000	565 000	634 000
宮崎	1 145 000	538 000	607 000
鹿児島	1 738 000	813 000	925 000
沖縄	1 361 000	668 000	694 000

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

1.6 大都市・男女別人口（総人口）

1.6 大都市 (再掲)	総 数	男	女
東京都区部	8 568 000	4 249 000	4 319 000
札幌市	1 889 000	891 000	998 000
仙台市	1 027 000	501 000	527 000
さいたま市	1 183 000	594 000	589 000
千葉市	930 000	466 000	465 000
横浜市	3 602 000	1 813 000	1 789 000
川崎市	1 342 000	694 000	648 000
静岡市	712 000	347 000	366 000
名古屋市	2 223 000	1 104 000	1 119 000
京都市	1 473 000	702 000	771 000
大阪市	2 635 000	1 282 000	1 353 000
堺市	832 000	401 000	432 000
神戸市	1 529 000	725 000	804 000
広島市	1 158 000	561 000	597 000
北九州市	991 000	465 000	525 000
福岡市	1 414 000	679 000	736 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成18年10月1日現在の総人口である。

(付表)
年齢調整死亡率の算出に用いた人口
基準人口（昭和60年モデル人口）

年齢階級	基準人口	年齢階級	基準人口
	人		人
0～4歳	8 180 000	50～54歳	7 616 000
5～9	8 338 000	55～59	6 581 000
10～14	8 497 000	60～64	5 546 000
15～19	8 655 000	65～69	4 511 000
20～24	8 814 000	70～74	3 476 000
25～29	8 972 000	75～79	2 441 000
30～34	9 130 000	80～84	1 406 000
35～39	9 289 000	85歳以上	784 000
40～44	9 400 000		
45～49	8 651 000	総 数	120 287 000

③ 年齢5歳階級別人口（日本人人口）の対前年比較

年齢階級	平成18年	平成17年	対前年増減
	人	人	人
総数	126 154 000	126 204 902	△ 50 902
0～4歳	5 451 000	5 547 395	△ 96 395
5～9	5 872 000	5 899 562	△ 27 562
10～14	5 961 000	5 990 607	△ 29 607
15～19	6 348 000	6 523 659	△ 175 659
20～24	7 115 000	7 192 988	△ 77 988
25～29	7 791 000	8 097 834	△ 306 834
30～34	9 440 000	9 592 355	△ 152 355
35～39	9 087 000	8 592 843	494 157
40～44	7 833 000	7 968 660	△ 135 660
45～49	7 586 000	7 650 199	△ 64 199
50～54	8 333 000	8 743 818	△ 410 818
55～59	10 752 000	10 223 859	528 141
60～64	8 092 000	8 526 772	△ 434 772
65～69	7 585 000	7 422 967	162 033
70～74	6 786 000	6 634 850	151 150
75～79	5 393 000	5 261 100	131 900
80～84	3 644 000	3 409 137	234 863
85～89	1 933 000	1 848 497	84 503
90～94	888 000	841 086	46 914
95～99	235 000	211 356	23 644
100～	29 000	25 358	3 642

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）
「平成17年国勢調査」（総務省統計局）-按分済み人口

④ 年齢5歳階級別人口（日本人女子人口）の対前年比較

年齢階級	平成18年	平成17年	対前年増減
	人	人	人
15～19歳	3 089 000	3 168 857	△ 79 857
20～24	3 459 000	3 504 081	△ 45 081
25～29	3 825 000	3 979 000	△ 154 000
30～34	4 648 000	4 726 334	△ 78 334
35～39	4 487 000	4 245 875	241 125
40～44	3 881 000	3 947 867	△ 66 867
45～49	3 777 000	3 812 550	△ 35 550
計	27 165 000	27 384 564	△ 219 564

資料：「平成18年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）
「平成17年国勢調査」（総務省統計局）-按分済み人口